

岐阜県立岐阜商業高校吹奏楽部の143人 正月のローズパレード出場

森林火災復興支援のグリーンバンド・フェスティバルにも



ローズパレード出場を記念する第3回応援コンサート・ラリーで(今年7月12日、長良川ホール)



【写真上】ローズパレード協会の会長から授与されたローズパレード出場旗(同下)毎年恒例のサマーコンサート(今年6月、長良川国際会議場)

2017年1月2日(月)にバサデナ市のコロラド大通りを中心とする主要道路で繰り広げられる正月恒例のローズパレードに、日本から岐阜県立岐阜商業高校吹奏楽部員143人が参加する。

一行は7班に分かれて関西空港から出発し、第一陣は25日(日)にはロサンゼルス入りして、翌日からオレンジ郡アナハイム近郊でパレードの練習に取り組み、後続班も28日(水)午前中までに順次ロサンゼルスに到着して、先発隊との合同練習に加わる。

同じ28日の午後からデイズニーランドのデーパーレードに出場し、夜はそのままデイズニーランドでひと時の自由時間を楽しむ。翌29日(木)は早朝から合同練習をこなし、午後はデイズニー・ワールドショーアップに参加し、夜はデイズニー・クリスマス・パレードに出場する。

同吹奏楽部は今回、ローズ

パレードのほかに、31日(土)にバサデナ・シティアカレッジでのバンド・フェスティバル出場、1月3日(火)にオレンジ郡ラバール市のジョン・F・ケネディ高校パフォーミングアート・センターで開催されるグリーンバンド・フェスティバルに出場することも訪米の大きな目的になっている。

全米最大規模のローズパレードに出場するには、米国内はもとより、世界各国から応募してくる数百チームにもおよぶバンドと競争し、厳しい審査にパスしなければならぬ。最終的に出場できるのは十数チームだけで、出場を果たす



岐阜商業吹奏楽部のエングレム

ことが高校や大学の吹奏楽部にとって非常な名誉とされている。

日本からのバンドは、アジア・オセアニア地区の予選を勝ち抜き、審査に合格して、ほぼ毎年のように出場を果たしている。今年元旦には東邦高校(名古屋)と愛知東邦大の吹奏楽部メンバー110人、昨年は奈良県立郡山高校の卒業生を中心とした郡山連技ブラスバンド94人が出場している。

全長約5・6マイル(約9キロ)の長い道のりを2時間半ほどかけてパレードするが、若く元気な高校生たちのバンドだから迫力の大観衆の喝采を受けながら堂々と行進してくれるものと期待される。

ローズパレード翌日のケネディ高校でのグリーンバンド・フェスティバルは、南カ

もいろいろクローバーライブに出演した岐阜高吹奏楽部メンバー(今年2月、ナゴヤドーム)



新屋敷)の沿革は明治37年(1904年)の旧岐阜市立岐阜商業学校にさかのぼる。110年超の伝統を誇る名門校で、校訓は「不撓不屈」。どんな困難に出会ってもひるまず、くじけずに最後までやり遂げることを旨としている。

そうした中、吹奏楽部は、吹奏楽とマーチングの音楽活動を通して心と技を磨き、親しまれるバンドを目指し、音楽を通じた人間形成を図ることを活動目標としている。

独自に定時コンサートを開催しているほか、各地区の吹奏楽コンクールやマーチング大会で優秀な成績を残してきた。また、地域行事などにも積極的に参加するなど、音楽を通じた社会貢献にも力を注いでいる。

ローズパレード出場が決まってきた5回のコンサートラリーを開催したほか、大壮行会も開かれるなど、地元からも多くの激励と支援、そして期待が寄せられている。

【石原 嵩】

リフォルニアの森林火災復興支援のためのチャリティー・コンサートになる。音楽を通じてチャリティー活動を実践することで、ボランティア精神や自然環境を守る大切さを学んでいく。

このコンサートには毎年、高校生たちが滞在中にお世話になるホームステイ先のホストファミリーなど800人以上の観客が集まり、ケネディ高校の吹奏楽部やジャズバンドとの競演もあって、会場は熱気に包まれる。

岐阜商業高校(岐阜市則武